

ふくしの森ステーションみすぎだより

令和6年11月号No.32

“ふくしの森ステーション”は地域の何でも相談窓口です。

- ・社会福祉協議会職員のコミュニティソーシャルワーカーが活動する地域の拠点です。
- ・地域福祉活動を支援します。・ボランティア活動に関する相談にもお応えします。
- ・日頃から悩んでいること、不安に感じていることがありましたらご連絡ください。

はんのうふくしの森 みらいカレッジ in 美杉台 ～これからの美杉台の“未来へ”～



～ずっと住み続けられる街づくりのために～3日間開催しました

1日目 ◆講師 米元 洋次氏（合同会社 Active Learners 共同代表）

“人が集まる場を、もっと面白くする”をテーマに「あさひやまライフネットの今後の活動に向けたアイデア発散！」で、いろいろな意見を出し合いました。こどもたちや若い人にも健康ステーションに参加していただき脳トレの対抗戦を行ったり、中学生のゴミ出しボランティア募集などの意見が出ました。

2日目 ◆コーディネーター 田中 英樹氏（日本医療大学 通信教育部長）

◆話題提供者 久保田 経夫氏（あさひやまライフネット統括部長）

平成4年に3丁目自治会を発足し、3丁目の「サロンやまびこ」や「ライフネットあたたか」で高齢者の勉強会を行ったり、美杉台の自治会発足の支援をされた経験や、今も多方面で活躍をされている話を聞くことができました。

◆話題提供者 川上 登氏（美杉台地区民生委員・児童委員）

現在も会社を2つ運営されながら民生委員もされて、3足の草鞋を履いて活躍中で、モットーは「常に前向きに考える。」ことだそうです。飲みゅにケーションを楽しみながら、コンフォール21の夏祭り委員もされたそうです。

3日目 「専門機関との交流&地域デザイン」をテーマに SOS ゲーム！

◆専門機関 ①地域包括支援センター ②すこやか福祉相談センター ③子育て総合センター ④保健センター（保健師）⑤福祉事務所（生活保護ケースワーカー）⑥民生委員児童委員協議会 ⑦社協（コミュニティソーシャルワーカー）グループごとに困りごとのカードをひいて「こんな時はどこに相談したら良いのかな？」を皆で検討しました。専門機関の方々にもご参加いただき自分だけでは思いつかない支援先が見つかり、とても有意義な会議でした。



1日目 グループワーク



2日目 講演会



3日間 参加された修了者の皆さん

社会福祉法人飯能市社会福祉協議会 ふくしの森ステーションみすぎだより（美杉台地区行政センター内）

原則 火～金曜日（祝祭日を除く） 9：15～16：15 在室

TEL 070-7792-2426 FAX 042-973-8941

Eメール station-misugidai@hannosyakyo.or.jp



※担当が不在の場合、電話は飯能市社会福祉協議会事務局（総合福祉センター内）へ転送されます。

“ふくしの森ステーションみすぎだより”は各自治会のご協力で回覧しています。